

第17回

AAF 戯曲賞

The drama competition by the Aichi Arts Foundation

応募要項 Application Rules & Requirements 愛知県芸術劇場 Aichi Prefectural Art Theater

AAF 戯曲賞は上演を前提とした戯曲賞です

劇場が主催する「上演を前提とした」AAF 戯曲賞。「戯曲とは何か？」というテーマを掲げリニューアルして3年目になりました。

作家と演出家、俳優と作品、そして舞台と観客…戯曲賞を通して、劇場が様々な形の出会いの場になりたいと願っています。そして、今私たちが100年前の戯曲を上演しているように、100年後の誰かが上演するとしたら…と、未来の上演や観客との出会いにも希望を持っています。

(公開審査会はウェブでも生中継し、昨年度は1次・2次審査のレポートをウェブサイトで公開しています。是非ご覧ください。)

今年もどんな作品と出会えるかとても楽しみです。

皆様からのご応募をお待ちしています。

愛知県芸術劇場



撮影：羽島直志

第15回 AAF 戯曲賞受賞記念公演『みちゆき』

作：松原俊太郎 演出：三浦基 出演：地点、ほか

2016年 9月9日(金)～12日(月)

What is Drama?
戯曲とは、何か？

主催・お問合せ

愛知県芸術劇場（公益財団法人愛知県文化振興事業団）

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 Tel：052-971-5609 Fax：052-971-5541

ウェブサイト：<http://www.aac.pref.aichi.jp> E-mail：event@aaf.or.jp

※6月の月曜日は電気設備点検のため休館します。メールの受信やウェブサイトの閲覧ができない場合があります。

助成：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



We are inviting

WANTED!

script for performance



MIURA Motoi

悲劇を見たいと思います。
古典的な悲劇がもう成立しなくなっていることは仕方のないことですが、やはり演劇は悲劇でなければ勝負にならないのではないかと考えはじめています。現実の方が悲劇的だなんていうことはあってはならないからです。現代に悲劇は成立するのか？私だって演劇を見ておいおいと泣いてみたいです。

三浦基 演出家、地点代表 photo: Hisaki Matsumoto

1973年生まれ。99年より2年間、文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリに滞在する。2001年帰国、地点の活動を本格化。05年、京都へ拠点を移す。著書に『おもしろければOKか？現代演劇考』（五柳書院）。10年度京都府文化奨励賞受賞。11年度京都市芸術新人賞受賞。13年、本拠地京都にアトリエ「アンダースロー」をオープン。17年、読売演劇大賞選考委員特別受賞。

HITSUJIYA Shiroshima



いまだ上演されていない戯曲に注目したいです。
人も光も音もない、言葉だけから発露される
イメージーションに魅了されたいです。

羊屋白玉 「指輪ホテル」芸術監督。劇作家、演出家、俳優。 photo: Sakiko Nomura

1967年生まれ。2006年、ニューズウィーク日本誌において「世界が認めた日本人女性100人」の一人に選ばれる。近年も、日本各地の芸術祭で、海や列車やトンネルなどサイトスペシフィックな演劇作品を発表するかたわら、14年よりアーツカウンシル東京にて「東京スープとブランケット紀行」始動。15年よりアジア女性舞台芸術会議（亜女会）を設立し、ますます、自分が何者かよくわからなくなっています。
www.yubiwahotel.com

あなたの考える
演劇上演のための
テキスト【募集】

大賞（1点）
賞金50万円
特別賞（1点）
賞金10万円



鳴海康平 第七劇場代表、演出家

1979年生まれ。早稲田大学在籍中の99年、劇団を設立。これまで国内20都市、海外4ヶ国6都市（韓国・ドイツ・フランス・台湾）で作品を上演。2004年ロシア、08年香港にて研修。12年から1年間、ポーラ美術振興財団在外研修員としてフランスに滞在。14年、三重県津市に拠点を移し、新劇場を開設。

NARUMI Kouhei

審査3年目です。毎年全方向に勉強になってますが、わかったことは、とにかくどこかの一点で、頭の中でいくつか並行した空間が回転する瞬間があるもの、が私にとって戯曲を読む体験になるんだなあ、ということです。というか上演をそのように考えているから、そうなるのかもしれない。戯曲の解凍の仕方を今年は意識したいと思います。

篠田千明 演出家、作家、イベンター photo:Tada Hengsapkul

演出家、作家、イベンター。1982年東京生まれ。2004年に多摩美術大学の同級生と快快を立ち上げ、2012年に脱退するまで、中心メンバーとして主に演出、脚本、企画を手がける。以後、バンコクを拠点としソロ活動を続ける。近年は「四つの機劇」「非劇」と、劇の成り立ちそのものを問いながら作品を制作し、最新作はチリの作家の戯曲を元にした「ZOO」。2016,17年度セゾンジュニアフェロー。



SHINODA Chiharu

【募集内容と条件】

- ①あなたの考える演劇上演のためのテキストであること（外国語のテキストの場合は作者本人の責任による日本語翻訳を添付してください）。
- ②既発表・既上演作品も応募できます（他戯曲賞への応募歴がある作品は応募できません）。
- ③作品点数は一人1点に限ります。
- ④応募作品は書式自由、ただし、A4用紙200枚程度まで。

【応募方法】

別紙応募票に必要事項をご記入の上、愛知県芸術劇場AAF戯曲賞係まで書留郵便または宅配便で送付するか、愛知芸術文化センターB2アートプラザに持参してください。E-mailでの応募はできません。

提出物：応募票・表紙（作品名・応募者名を明記）・作品概要（A4一枚程度、書式自由）、応募作品

※応募に際し、必ず募集要項の注意事項をご確認ください。

【大賞受賞作品について】

- ・大賞受賞作品は、戯曲賞受賞記念公演にて上演されます。
- ・上演は平成30年度秋、愛知県芸術劇場小ホールを予定しています。
- ・上演方法は愛知県芸術劇場プロデュース公演とし、演出家・出演者その他公演内容は審査員・作者と協議の上、当劇場が決定します。
- ・上演に際して作者の同意の上、作品を改変・翻案する場合があります。

【Details of Requirements and Conditions】

- ①Submission must be a script for performance on stage (If the entry is originally written in non-Japanese, applicant must attach Japanese translation of the text at the applicant' s cost)
- ②Previously performed on stage, or published script is applicable. (The script which previously submitted for other competitions is NOT applicable.)
- ③One entry per applicant.
- ④No set format for the script. A4 size paper up to approx. 200 pages.

<Method of application>

* Submission items: (1)Application form, (2)Cover page (Title and applicant' s name must be written), (3)Outline of the script (A4 size paper 1 page, no set format), and (4) Script.

<Application period>: June 1 (THU.) to July 30 (Sun), 2017.

Submission must be done no later than July 30, 6:00PM.

<Reward>: Drama Award 500,000 JPY. Special Award 100,000JPY. *including local consumption tax and income tax.

<Method of jury>: After the application due, primary and secondary jury session will take place.

Announcements of 1 Drama Award and 1 Special Award are made at the open jury session on December 17(Sun), 2017.

(The primary and secondary jury session results will be announced on the website of Aichi Arts Foundation.

The jury session processes will be reported and disclosed on the website. The open jury session is planned to be broadcasted through internet.)

審査
スケジュール

受付
6月1日(木)～7月30日(日)
(直接持参の場合 30日18:00まで)

10月上旬 1次審査通過作品発表
(劇場ウェブサイトにて)

10月下旬 2次審査通過作品発表
(劇場ウェブサイトにて)

12月17日(日)最終審査 大賞・特別賞決定
(愛知県芸術劇場 小ホールにて公開審査会を行います)

※2次審査終了後、1・2次審査のレポートをウェブサイトにて公開します。また、公開審査会はインターネットで生中継を行います。